

FRONTEO、東京大学大学院新領域創成科学研究科と 論文探索 AI システムのライセンス契約を締結

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 イノベーション政策研究分野（教授：加納信吾）と、論文探索AIシステム「Amanogawa」の教育・研究機関向けアカデミックプランの利用について、ライセンス契約を締結しました。

本契約は、10月2日に同研究科が開催した集中セミナー「研究開発の現場を知る－キャリアデザインの前に知っておくべきこと」で当社ライフサイエンスAI CTO 豊柴博義が講義を行った際に、加納教授が大学院での授業における「Amanogawa」活用へ関心を持たれたことをきっかけに実現しました。

論文探索における課題に、キーワード検索だけでは、調べたいテーマについて論じられた情報の十分な検出が難しい点が挙げられます。これは、論文の記述の中で、1つの用語が複数の異なる意味で用いられる場合や、逆に同じ事象や現象が同義語・略語などを含む様々な表現で記述される場合があるためです。「Amanogawa」では、検索にベクトルを用いることで、研究テーマに関連する論文を網羅的に検出し、さらにそれらの論文が概念の類似度に基づきマップ上で表示され、相関等が可視化されるため、必要な論文を俯瞰的に把握することが可能となります。加納教授にこの点を高く評価いただき、今般の導入に至りました。

「Amanogawa」は、講義「医療イノベーション俯瞰演習：研究分野を俯瞰し、自らの関心事項の世界における位置づけを明らかにする」で使用される予定です。FRONTEOは、「Amanogawa」が次世代の研究を担う学生の皆様に活用され、新たな研究や発見の一助となることを期待しています。

■Amanogawaについて URL: <https://lifescience.fronteo.com/aidiscovery/amanogawa/>

「Amanogawa（商標・特許出願中）」は、FRONTEO独自のAIエンジン「Concept Encoder（登録商標：conceptencoder®、読み：コンセプト・エンコーダー）」を搭載した論文探索AIシステムです。研究者が興味のある単語や仮説などの文章を入力すると、PubMed*に掲載されている大量の論文から、「Concept Encoder」が入力内容に関連する論文を瞬時に検出します。

検索結果は論文同士の類似度によってマップ状にプロットされるため、一目で関連性を確認でき、マップ上に検出された論文情報をドラッグして絞り込み検索をするなど、今までになかった視覚的な論文探索が行えます。さらに、検索結果に関連性の高い順に並べ、それらのアブストラクト（概要）を一覧表示することができるため、論文探索が大幅に効率化されます。これにより、人では気付きづらい視点からの事象や新薬ターゲットなどの発見が可能となります。

* PubMed：生物医学領域の論文を検索できるデータベース。NLM（米国国立医学図書館）内のNCBI（国立生物科学情報センター）が作成。



■FRONTEO について URL: <http://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自然言語処理に特化した自社開発AIエンジン「KIBIT®」と「conceptencoder®」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ（電子証拠開示）」や「デジタルフォレンジック調査」などのリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。2014年より、リーガルテック事業で培ったAI技術を基に、ライフサイエンス分野やビジネスインテリジェンス分野に事業のフィールドを拡大し、AIを用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ上場。資本金2,568,651千円（2020年3月31日現在）。

< 報道関係者のお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO 広報担当 瀬川・村山

Email : pr_contact@fronteo.com

< ライフサイエンス AI 事業に関するお問合せ先 >

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://lifescience.fronteo.com/contact>